

多様な専門性を持つ医師たちが集まる脊椎のプロチーム

脊椎センター センター長 森野忠夫

脊椎とは首から腰までの背骨や、中を通る脊髄などを指します。日本で脊椎の病気を扱うのは脳外科・整形外科・神経内科などですが、欧米では脊椎専門の診療科が主流です。日本では20年ほど前から一本化の流れがあり、当院は2011年に脳外科と整形外科の先生が集まって脊椎センターを設立しました。全国でもかなり早い時期でした。脊椎に関する病気や症状には、老化に関連する変形疾患（背中が曲がり出っ張った背骨が神経を圧迫して痛む）などが含まれますので、高齢化社会に伴って症例数は増えています。当院は総合病院ですので、糖尿病や高血圧などの合併症がある患者さんでも他科の先生との連携によって対応できます。また、最新のナビゲーションシステムで、脊椎を三次元でとらえながら安全性の高い変形矯正手術も行うことができます。脊椎は病状だけでなく生活環境も一人ひとり違います。患者さんに正確な情報を伝え、ともに治療方法を考えるよう心掛けています。更に、県内の先生方との情報交換を積極的に行っており、四国エリアの脊椎症例発表会や、愛媛脊椎研究会では実際の症例を持ち寄って検討会を開いています。



PROFILE

もりのただお◎1994年愛媛大学医学部卒業、同年当院整形外科に入局。2002年に整形外科専門医、10年に脊椎外科指導医を取得。専門は脊椎脊髄外科で診断・治療・手術と幅広く対応。趣味は犬サチコと散歩、位置ゲーム。